

環境省、文部科学省、農林水産省
及び気象庁 同時発表

平成30年2月16日
総合政策局環境政策課

「気候変動の観測・予測・影響評価に関する統合レポート2018 ～日本の気候変動とその影響～」を作成しました

国土交通省は、環境省、文部科学省、農林水産省、気象庁とともに、日本を対象とした気候変動の観測・予測・影響評価に関する知見を取りまとめたレポート「気候変動の観測・予測・影響評価に関する統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～」を作成しました。

本レポートは、さまざまな自然システムが気候変動による影響を受けつつある中で、国や地方の行政機関、国民が気候変動への対策を考える際に役立つ最新の科学的知見を提供することを目的として、主に日本を対象とした気候変動の観測・予測及び影響評価分野の最新の知見を統合・要約し、取りまとめたものです。

今回のレポートは、観測結果に基づく気候変動の現状と将来の予測結果ともに、気候変動により現在生じている影響及び将来予測される影響について盛り込むことにより、気候変動への適応策を考える際に役立つ資料としています。

また、気候変動に関してよく抱かれる疑問について、コラムを活用してわかりやすく解説したほか、レポートの概要をまとめたパンフレットも合わせて公表しました。

詳細につきましては、レポート本文及び概要パンフレットをご参照ください。

レポート本文：http://www.env.go.jp/earth/tekiou/report2018_full.pdf

【お問い合わせ先】

総合政策局 環境政策課 横井（24-402）、椿（24-322）

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8268

FAX：03-5253-1550

